

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社マツモトキヨシ甲信越販売					
代表者名	氏名	安藤 浩	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県長野市鶴賀緑町1393番地3					
主たる事業の分類	大分類	R サービス業（他に分類されないもの）				
	中分類	6031 ドラッグストア				
主たる事業の概要	ドラッグストアの経営、調剤薬局の経営					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	3233	3233	3233	3077	2940
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	6585	6585	6592	6258	5982
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	22		22	18	23
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	99				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 31 年度
--------	----------

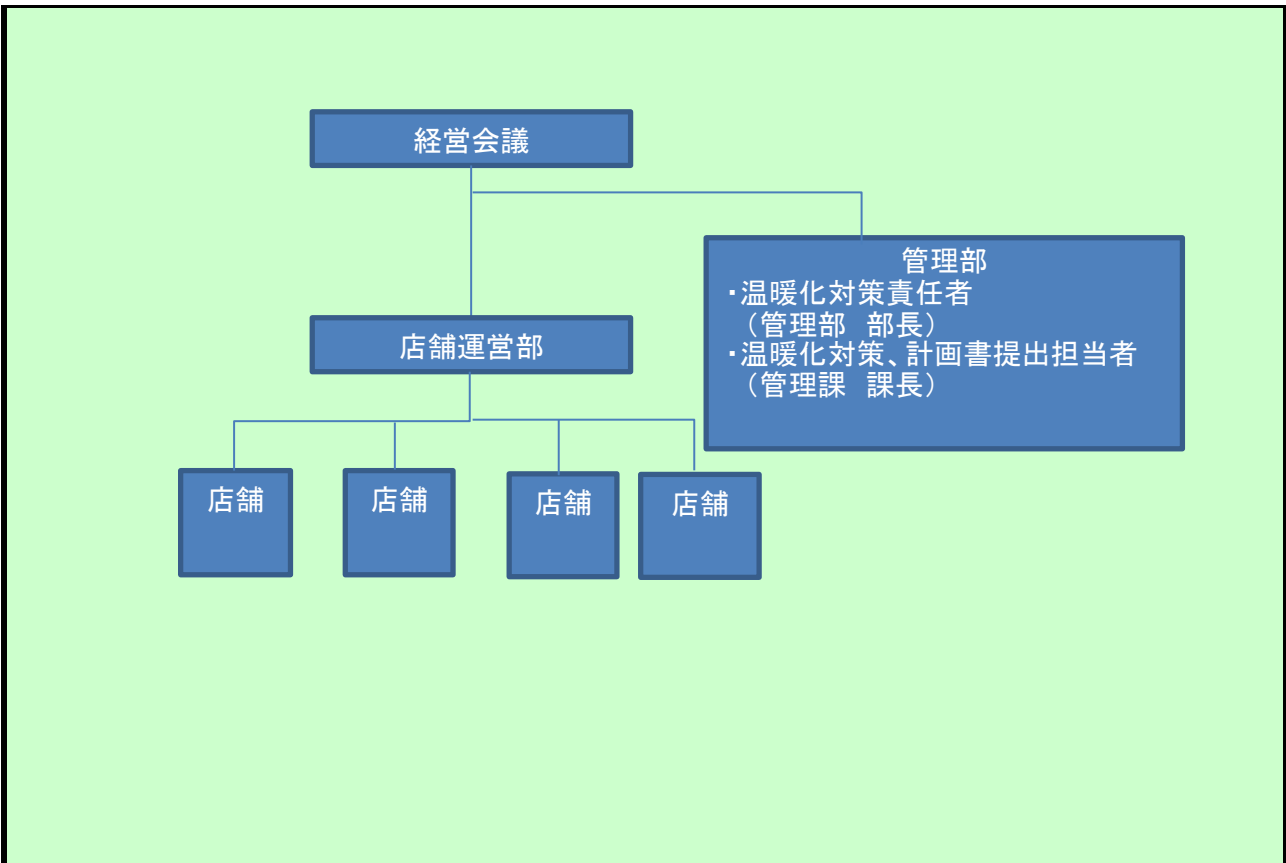
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	〒380-0813 長野県長野市鶴賀緑町1393番地3 株式会社マツモトキヨシ甲信越販売 本社管理部 10:00～17:00 電話 (026-229-8490) FAX (026-229-8491)
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

- ・使用量の報告を毎月行い、省エネ意識を高め契約電力と併せて使用電力量の削減に結びつける。
- ・新規出店はLED照明を含めた省エネ機器を採用し、改装店舗はLED照明、効率的な空調機・冷蔵冷凍機への更新を積極的に行う。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

- ・経営会議（毎月）で電力使用量等の報告を行う。

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	6,585	t-CO ₂	建物延床面積	535.89	単位	百㎡	
28年度	調整後排出量	6,541	t-CO ₂	基準原単位	12.29	t-CO ₂ /	百㎡	
目標年度	目標排出量	6,585	t-CO ₂	目標原単位	12.17	t-CO ₂ /	百㎡	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	0.00	%	目標削減率	1.00	%		
目標設定に関する説明	合計排出量については、毎年新規出店が見込まれるので、目標削減なしとし、原単位1%削減を目標と致します。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	6,592	t-CO ₂	建物延床面積	551.62	単位	百㎡	
	調整後排出量	6,537	t-CO ₂	原単位	11.95	t-CO ₂ /	百㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	(0.11)	%	削減率	2.76	%		
排出量等の増減理由	平成29年度 新規開店した2店舗における排出量に対して、既存店の排出抑制が目標通りに進めることが出来なかった。							
第二年度	排出量	6,258	t-CO ₂	建物延床面積	589.68	単位	百㎡	
	調整後排出量	6,210	t-CO ₂	原単位	10.61	t-CO ₂ /	百㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率※
30年度	削減率	4.96	%	削減率	13.66	%		
排出量等の増減理由	①平成30年度 新規開店した店舗を含め21店舗において、店内照明のLED化を積極的に実施。 ②高効率空調機および高効率冷凍機への更新。 ③基準温度を設定し、室内温度の適正化を実施すると共に節電意識を上げた。							
第三年度	排出量	5,982	t-CO ₂	建物延床面積	578.33	単位	百㎡	
	調整後排出量	5,925	t-CO ₂	原単位	10.34	t-CO ₂ /	百㎡	寄与度の合計から求めた実績削減率※
31年度	削減率	9.15	%	削減率	15.86	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	①平成31年度 新規開店した店舗を含め8店舗において、店内照明のLED化を積極的に実施。第2期の3年計画において積極的なLED化を行い9%の削減が実現できた。 ②高効率空調機および高効率冷凍機への更新の継続。 ③室内温度の適正化を実施すると共に節電意識を上げた。尚、本社においては、日常の中で節電に対する注意喚起(つけっぱなしの撲滅)を行った。							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	99	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	330299 高効率空調機導入・高効率冷凍機導入	29～31	50	29～31	
2	エネ起	150201 店内照明LED化の推進	29～31	300	29～31	
3	エネ起	130101 ヒートネスカジュアル、スーパーカービズ、 ウォームビズの実施	29～31	10	29～31	
4	エネ起	130101 室内温度の適正化（基準温度設定）	29～31	10	29～31	
5						
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	44		55	48	57
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	65	6,585	67	6,592	72	6,258	73	5,982
合計	65	6,585	67	6,592	72	6,258	73	5,982

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	12	11	8	8
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	12	11	8	8
自動車総数	22	22	18	23
次世代車導入割合	54.5	50	44.4	34.8

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	自動車以外の通勤手段（自転車、電車等）推進および駐輪場設置検討
公共交通機関の利用促進	自動車以外の通勤手段（電車、バス）推進
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	①ゴミ分別の強化。 ②ペーパーレス化の推進。 ③環境に配慮した設備の導入提案、導入設置。
第一年度実績	①自動車以外の通勤手段（自転車、電車等）推進。②前記①推進にともなう、本社環境整備の検討（駐輪場等）。
第二年度実績	①自動車以外の通勤手段（自転車、電車等）推進の継続。 ②前記①推進にともなう、本社環境整備の検討（駐輪場等）の継続。 ③ペーパーレス化の推進。コピー機に啓蒙POPの掲示。
第三年度実績	①ペーパーレス化の推進。コピー機に啓蒙POPの掲示。 ②複数枚コピーの時、両面コピーの推進 ③本社備品省電力化、複合機入替時のメーカー返却対応

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	高効率空調機導入、高効率冷凍機導入、店内照明LED化を順次実施。	300
その他	①監視装置による見える化（機器、設備毎に分単位に見える化）を3店舗試験導入したが、中止。 ②冷凍機別置型ショーケースの試験導入（ノンフロン冷媒モデル等）	試験中